

科 目	日本史探究	普通科文系選択
名		3年・4単位

目 標	古代史から近世史までの歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づいて理解し、各時代の特徴を広い視野から考察することにより歴史的思考力を養う。 大学共通試験に対応できるよう、しっかりした学力を身につける。
-----	--

位 置 づ け	2年次に学んだ歴史総合(近・現代史)を受けて、通史としての日本史
------------	----------------------------------

■使用する教材 ・教科書 詳説日本史（山川出版社） ・副教材 図説日本史通覧（帝国書院） 日本史総合テスト（山川出版社） ・自作プリント ほか	■学習する単元とおおよその時期 ・日本文化のあけぼの【4月】 ・ヤマト政権と律令国家の形成【5月】 ・貴族政治の展開【6月】 ・院政と武家政権の成立【7月】 ・武家社会の成長【8月】 ・近世の幕開け【9月】 ・幕藩体制の成立と展開【10月】 ・幕藩体制の動揺【11月】 ・演習問題【12月～】
■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法 古代史から近世史までを扱います。今までやってきた過去の歴史と結びつけていけるようにしていきましょう。日本史は「暗記がすべて」ではありません。歴史的な流れや前後の関係を理解することで全体が見えてきます。興味・関心を持って、何事も深く考察していくことを意識してください。地図や資料を念頭におき、読解能力と論理的思考力を養っていくことも共通試験には必須の要件です。効率よく家庭学習を行い、確かな学力を身につけていきましょう。	

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A 日本史についての基本的な事柄を理解し、その知識を詳細に身につけることができた。	地図や資料をみて、課題を適切に読み取ることができた。 自分の歴史観と課題の解決案を適切に表現することができた。	日本史に対する関心を高め、自発的に追求するとともに、その意欲を提出プリントによく表すことができた。
	B 日本史についての基本的な事柄を理解し、その知識をある程度身につけることができた。	地図や資料をみて、課題をある程度読み取ることができた。 自分の歴史観と課題の解決案をある程度表現することができた。	日本史に対する関心を高め、自発的に追求するとともに、その意欲を提出プリントにある程度表すことができた。
	C 上記が達成できていない。	上記が達成できていない。	上記が達成できていない。
評価の場面	定期考査	定期考査 レポート	授業中の参加態度 課題の提出状況